

市民のいのちと健康を守るため

町田市でも放射線測定の実施を

本日 6月14日(火) 一般質問



とのもむら健一 (6番目)

- 災害時の透析医療患者の命を守る施策の充実を求めて
- 新庁舎周辺道路の交通問題について問う
- 町田駅周辺や町田バスセンター内に公共トイレの設置を求めて

佐々木とも子 (5番目)

- 市内に避難している被災者への支援体制について
- 省エネ社会にむけた浪費的エネルギーの抑制を求めて
- 町田市上空における米軍機飛行訓練中止を求めて



市議会議員(1期)

池川友一

13日から16日の日程で、一般質問がおこなわれます。13日は、池川友一議員が質問に立ちました。その要旨を紹介します。

池川友一市議は、原発事故から市民のいのちと健康を守るための対策を求めて質問。「原発ゼロに向けて市長としてもメッセージを発信すべきではないか」との質問には「国がやることなので」と市長は答弁に立ちませんでした。

町田市内でも放射線測定をおこなうことを求めた質問では、「子どもが集まる場所で放射線を測定して公表してほしい」など市民のみなさんから寄せられた声を紹介して実施を求めました。

これに対して、「東京都が100カ所の測定をおこなう。町市内で4カ所(町田6小、鶴川1小、三輪小、図師小)でおこなう計画であり、その結果も見て判断したい」という答弁でした。



市の情報発信として ツイッターの活用を

市の情報発信について、情報弱者の

対策、防災無線の改善、町田市のメール配信サービスの充実、ツイッターの活用について求めました。

「情報がタイムリーに伝わるように、広報活動について研究をしていく。メールについてもジャンルを広げていけるように各部と検討していきたい」と答弁。ツイッターについても「若い人への情報発信としては有効」と答弁がありました。

被災地支援について

「今後、行政機能の回復のために長期派遣も含めておこなっていく。できる限りの支援をしていきたい」と答弁がありました。

陸前高田市と交流関係の発展を求めたのに対しては「相手のこともある。いまはその状況にない」という答弁でした。

原発ゼロへの展望を語る

6月19日(日) 18時から

健康福祉会館 お話●笠井亮衆院議員



日本共産党町田市議団

検索